

事務局長	次長	課長	課長補佐	主幹	主査	主任	担当者	決定額	円
								支給期間	年 月 日 ～ 年 月 日 日間

介護休業手当金請求書

組合員記号・番号	-		所属所名			
組合員氏名			標準報酬月額 (短期)	等級	円	
組合員の介護を 必要とする者	住 所 氏 名		(続 柄)			
請求期間の初日・末日	初日	年 月 日	末日	年 月 日		
請求日額の計算 (標準報酬日額×67/100)	円 (日額)		勤務時間1時間 当たりの給与額	円		
各月休業の 日数及び 請求金額 (請求日額×日数 - 控除額)	月	月分	月分	月分	月分	請求額
	請求日額 × 日数	円 日	円 日	円 日	円 日	円
	控除額	円	円	円	円	
請求額	円	円	円	円		
雇用保険 加入状況	<input type="checkbox"/> 加入あり <input type="checkbox"/> 加入なし		雇用保険で介護休業手当金を 請求しない理由 ※「加入あり」を選択した場合記入			
所属所長 または人事 担当者の証明	介護休業を承認した期間	年 月 日から		年 月 日まで		
	上記のとおり相違ありません。 年 月 日 職 名 証 明 者 氏 名					
上記のとおり請求します。 和歌山県市町村職員共済組合理事長 様 年 月 日 住 所 請 求 者 氏 名						

◎裏面の備考に留意願います。

【備考】

1. 介護休業に関する所属所長の証明を添付してください。
2. 標準報酬日額は標準報酬月額×1/22の額を10円未満四捨五入してください。
例： $\frac{470,000\text{円}}{\text{[標準報酬月額]}} \times \frac{1}{22} = 21,363.63\text{円} \approx \frac{21,360\text{円}}{\text{[標準報酬日額]}}$
3. 請求日額は標準報酬日額×67/100の額を円未満切り捨ててください。
例： $\frac{21,360\text{円}}{\text{[標準報酬日額]}} \times \frac{67}{100} = 14,311.2\text{円} \approx \frac{14,311\text{円}}{\text{[請求日額]}}$
4. 「報酬支給額証明書」を添付のうえで、共済組合に提出してください。
5. 介護休業により出勤しなかった期間に支払われた報酬がある場合、介護休業手当金の請求金額を調整してください。
6. 「雇用保険加入状況」は、短期組合員が請求する場合のみ記入してください。

事務局長	次長	課長	課長補佐	主幹	主査	主任	担当者	決定額	円
								支給期間	年 月 日 ~ 年 月 日 日間

介護休業手当金請求書

組合員記号・番号	9999 - 99999		所属所名	〇〇〇〇市		
組合員氏名	〇〇 〇〇		標準報酬月額 (短期)	29 等級	470,000 円	
組合員の介護を 必要とする者	住 所 和歌山県〇〇〇〇市〇〇〇〇〇〇 氏 名 〇〇 △△		(続 柄) (子)			
請求期間の初日・末日	初日 令和 X 年 XX 月 X 日		末日 令和 X 年 XX 月 X 日			
請求日額の計算 (標準報酬日額×67/100)	14,311 円 (日額)		勤務時間1時間 当たりの給与額	X,XXXX 円		
各月休業の 日数及び 請求金額 (請求日額×日数 - 控除額)	月	XX 月分	XX 月分	月分	月分	請求額 428,864 円
	請求日額 × 日数	14,311 円 15 日	14,311 円 17 日	円 日	円 日	
	控除額	13,635 円	15,453 円	円	円	
	請求額	201,030 円	227,834 円	円	円	
雇用保険 加入状況	<input type="checkbox"/> 加入あり <input type="checkbox"/> 加入なし		雇用保険で介護休業手当金を 請求しない理由 ※「加入あり」を選択した場合記入			
所属所長 または人事 担当者の証明	介護休業を承認した期間	令和 XX 年 XX 月 XX 日 から 令和 XX 年 XX 月 XX 日まで				
	上記のとおり相違ありません。 令和 X 年 X 月 X 日 職 名 〇〇〇〇市長 証 明 者 氏 名 □□ □□					
上記のとおり請求します。 和歌山県市町村職員共済組合理事長 様 令和 X 年 X 月 X 日 住 所 和歌山県〇〇〇〇市〇〇〇〇〇〇 請 求 者 氏 名 〇〇 〇〇						

◎裏面の備考に留意願います。

【備考】

1. 介護休業に関する所属所長の証明を添付してください。
2. 標準報酬日額は標準報酬月額×1/22の額を10円未満四捨五入してください。

$$\text{例：} \frac{470,000\text{円}}{\text{[標準報酬月額]}} \times \frac{1}{22} = 21,363.63\text{円} \approx \frac{21,360\text{円}}{\text{[標準報酬日額]}}$$

3. 請求日額は標準報酬日額×67/100の額を円未満切り捨ててください。

$$\text{例：} \frac{21,360\text{円}}{\text{[標準報酬日額]}} \times \frac{67}{100} = 14,311.2\text{円} \approx \frac{14,311\text{円}}{\text{[請求日額]}}$$

4. 「報酬支給額証明書」を添付のうえで、共済組合に提出してください。
5. 介護休業により出勤しなかった期間に支払われた報酬がある場合、介護休業手当金の請求金額を調整してください。
6. 「雇用保険加入状況」は、短期組合員が請求する場合のみ記入してください。